

功績をたたえて

令和7年度町政功労者表彰

令和7年度栗山町政功労者表彰式が11月13日、カルチャープラザで行われ、5人が表彰されました。はじめに受賞者の功績が紹介された後、それぞれの分野での功績をたたえ、佐々木学町長が表彰状を手渡ししました。なお、受賞された方々は次のとおりです。



【産業功労者表彰】
谷田 進太郎さん
小林 米三郎さん
大久保 明義さん
【福祉功労者表彰】
山本 光子さん
【教育功労者表彰】
藤本 光行さん



社会福祉貢献者表彰

長年にわたり地域福祉活動などに寄与された方を表彰する「令和7年度社会福祉貢献者表彰式」（主催：社会福祉協議会）が11月9日、カルチャープラザで開かれました。表彰者へは表彰状、同協議会へ高額寄附をされた方に感謝状が授与されました。なお、受賞された方々は次のとおりです。

【社会福祉功労表彰】
野原 信子さん
梅津 和子さん
【優良施設職員表彰】
谷内 真弓さん
【感謝状】
吉田 礼子さん
亀谷 茂美さん
谷口 温松さん



交通功労者・優良運転者等表彰



札幌方面交通安全協会会長表
彰（交通安全功労者）
片山 肇さん
栗山地区交通安全協会会長表
彰（交通安全功労者）
端 師孝さん
墨谷 巖さん
伊藤 直樹さん
栗山地区交通安全協会会長表
彰（感謝状）
富澤 勇さん

栗山地区交通安全協会（松原由典会長）主催の「令和7年度交通功労者・優良運転者等表彰式」が10月23日、カルチャープラザで開かれました。
長年地域の交通安全に尽力された方や優良運転を続けられた方など7人が表彰され、栗山町からは5人が受賞しました。
なお、受賞された方々は下記のとおりです。



ヒートショックにご注意を！

【問い合わせ】 消防署 ☎ 72-0150

ヒートショックは、気温の変化によって血圧が上下し、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす現象です。主に家の中の温度差により引き起こされています。ヒートショックでの死因の大半は、入浴中の意識障害による溺死で、浴槽で倒れ、沈み込んで溺死するというパターンが多いと言われています。しっかり対策をして事故を未然に防ぎましょう。

いつ、どんな人に起こりやすい？

室内の温度差が生じやすくなる11～2月が発生しやすくなる時期です。

【起こりやすい人の特徴】

- ① 65歳以上の高齢者
- ② 高血圧、糖尿病、動脈硬化がある方
- ③ 肥満・睡眠時無呼吸症候群・不整脈など基礎疾患がある方

事故が起きてしまったら？

万が一浴槽で溺れ、意識が無くなっているのを発見した場合、まず浴槽のお湯を抜き、119番通報してください。その後、可能であれば浴槽から引きあげ、消防署通信員の指示に従い、心肺蘇生法などを実施してください。

予防に効果的な対策は？

- ① 脱衣所や浴室に暖房器具を置き、室内の温度差を無くす
- ② 風呂は38℃以上42℃未満
- ③ 食後1時間以上空けて入浴。
入浴前の飲酒は控えましょう
- ④ 入浴前後に水分補給をする
- ⑤ 家族に入浴することを報告



救急講習を行っています

こうした事故に備え、消防署では心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ講習を行っています。少人数や短時間でも対応できますので、興味のある方はお気軽に問い合わせください。